

# 白百合女子大学学則

## 第1章 総則

### 第1条

(建学の精神)

白百合女子大学における教育の基本理念はキリスト教、特にカトリシズムの世界観による人格形成にある。

本学の母体であるシャルトル聖パウロ修道女会の創立の精神に則り、知性と感性との調和のとれた女性の育成をめざす。

(教育目標 一真・善・美一)

真理の探求という知性の絶えざる研磨に加え、人格的自己完成という単独では獲得しえない徳性を、人々への誠実な愛と奉仕の姿勢を身につけることによって可能な限り追求し、自己と自己をとりかこむ一切のものの中に美を見出し、また謙虚さに根ざした畏敬の念を感受してゆくこと、そこに本学の教育目標は置かれている。

校名、校章にも「白百合」の花を選び、清楚、謙虚さの中に気品を保ち、豊かな人間性と広い視野のうえに専門的な知識を備えた自立的女性の育成を、その目標とする。

- 2 本学は、教育研究水準の向上を図り大学の目的および社会的使命を達成するため、自ら点検評価を行う。

第2条 本学に大学院を置く。

- 2 大学院の学則は別に定める。

第3条 本学に文学部および人間総合学部を置く。

- 2 文学部に国語国文学科、フランス語フランス文学科および英語英文学科を置く。
- 3 人間総合学部に児童文化学科、発達心理学科および初等教育学科を置く。

第3条の2 文学部は、専攻する言語・文学・文化の研究を通して、高いコミュニケーション能力を身につけ、自文化と他文化にわたる豊かな教養をもとに、多様な場面で他者と対話し、協働できる人材の育成を目的とする。

- 2 国語国文学科は、日本の言葉や文学を見つめ直し、調査・研究する力を身につけることを通して、豊かな教養と柔軟な発想をもった人材の育成を目的とする。
- 3 フランス語フランス文学科は、フランス語圏の言語・文化・文学の総合的な学習を通して、高度な言語運用能力と異文化理解に立脚した教養を身につけた人材の育成を目的とする。
- 4 英語英文学科は、英語圏の言語・文化・文学の研究を通して、海外だけでなく自国の文化をも再評価できる広い視野を培い、国際的に活躍できる人材の育成を目的とする。

第3条の3 人間総合学部は、児童自身が享受し参加する文化に対する深い理解を基礎に、その心身の発達を生涯に渡って支える視野と高度な専門性をもって、広く社会に貢献する人材の育成を目的とする。

- 2 児童文化学科は、児童の環境を形成する児童文学・児童文化の研究と絵本・童話などの創作を通して、想像力と創造力をもった人材の育成を目的とする。
- 3 発達心理学科は、人間の生涯発達とその臨床的対応について、発達心理学の立場から研究・教育を行い、幅広い分野で専門的な発達支援を行う人材の育成を目的とする。
- 4 初等教育学科は、乳幼児期・児童期の子どもの発達とその環境となる児童文化の理解に基づき、子どもの成長を支える熱意と豊かな学びを導く力量を備えた教師・保育者の育成を目的とする。

第4条 修業年限は4年とする。

第5条 在学年数は8年を超えることができない。

第6条 学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
文 学 部	国 語 国 文 学 科	100人	400人
	フランス語フランス文学科	100人	400人
	英 語 英 文 学 科	100人	400人
人間総合学部	児 童 文 化 学 科	50人	200人
	発 達 心 理 学 科	50人	200人
	初 等 教 育 学 科	75人	300人

第7条 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、事務職員その他必要な教職員を置く。

2 教職員組織に関する規程は、別に定める。

第8条 本学に教授会を置く。

2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

1 学生の入学および卒業

2 学位の授与

3 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長および学部長（以下この項において「学長等」という）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、および学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

4 前二項に規定するもののほか、教授会に関する規程は、別に定める。

5 文学部、人間総合学部に学部教授会を置く。学部教授会には、前項までに規定するもののほか、教授会に関する規程を準用する。

第9条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 1学年を分けて、次の2学期とする。

前学期 4月1日から 9月30日まで

後学期 10月1日から 3月31日まで

第10条 休業日は次のとおりとする。

1 日曜日

2 国の祝日に関する法律に規定する休日

3 本学の創立記念日 6月29日

4 夏期休業 7月21日から9月30日まで

5 冬期休業 12月21日から翌年1月7日まで

6 春期休業 3月20日から3月31日まで

学長は必要がある場合、休業日もしくは休業期間を変更し、または臨時に休業日を定めることができる。

## 第2章 入学・休学・復学・退学・除籍・再入学・編入学・転学部・転学科・留学

第11条 入学の時期は学年の始めとする。

第12条 本学へ入学することのできる者は、次の各号の一つに該当する女子であることとする。

1 高等学校または中等教育学校を卒業した者。

2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者。（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

- 3 学校教育法施行規則の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。(次の各号の一に該当する者)
- ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
  - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
  - ③文部科学大臣の指定した者。
  - ④高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者。
  - ⑤その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者。

第13条 本学へ入学を志願する者は、入学願書およびその他別に定める書類に所定の入学検定料を添えて、所定の期日内に願出しなければならない。

第14条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

第15条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書およびその他別に定める書類を提出するとともに、所定の学納金を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを不備なく完了したと認めた者に対し入学を許可する。

3 第1項の提出書類に虚偽または不正があった場合には、入学の許可を取り消すことがある。

第16条 学生が病気のため引き続き2か月以上休養を要するとき、その他特別の事由があると認められるときは、学長の許可を得て休学することができる。ただし、休学の期間が次年度にわたる時は、学年の始めに改めて願出しなければならない。

2 病気、その他の事由により、通学することが適当でないと認められる学生に対して、学長は休学を命ずることができる。

第17条 休学期間は、4年を超えることができない。

2 休学期間は修業年限および在学年数の中に、これを算入しない。

第18条 休学期間内にその事由がなくなったときは、学長の許可を得て、復学することができる。

第19条 退学しようとする者は、その理由を記載し、保証人連署のうえ、学長に願出しなければならない。

第20条 他の学校へ入学または転学しようとする者は、その旨を願出で、学長の許可を得なければならない。

第21条 次の各号の一つに該当する場合は、除籍する。

1 在学期間が所定の年数を超える者。

2 学納金を滞納し、催告を受けても納付しない者。

第22条 本学を退学、または除籍された者が、再び入学を志願したときは、選考のうえ、再入学を認めることができる。

第23条 本学の1学科を卒業した者が、再び他の学科へ入学を志願したときは、選考のうえ、これを認めることができる。

第24条 次の各号の一つに該当する者で本学への編入学を志望する者には、選考のうえ、相当年次に入学を許可することがある。

1 大学を卒業した者。

2 短期大学または高等専門学校を卒業した者。

3 他大学の2年次までの課程を修了し、62単位以上を修得して退学した者。

4 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上であるもの)を修了した者。

(ただし、学校教育法に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

- 5 高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者。

(ただし、学校教育法に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

第24条の2 本学内で他学部の学科または同一学部内の他学科へ転学部または転学科を志望する者には、選考のうえ、これを許可することがある。

第25条 本学学生にして、外国の大学(外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、またはこれに相当する教育研究機関をいう。以下同じ。)で、一定以上学修することを志望する者には、本人の教育上有益であると認められた場合にかぎり、これを許可することがある。

- 2 前項の制度を留学という。  
3 留学に関する事項は、別に定める。

### 第3章 授業科目、履修方法および学習の評価

第26条 文学部の授業科目を、宗教学科目、共通科目、外国語科目および学科専門科目に区分する。

- 2 人間総合学部の授業科目を、宗教学科目、共通科目、外国語科目、学部共通科目および学科専門科目に区分する。

第26条の2 本学における授業科目および単位数は、別表1のとおりとする。

第26条の3 各学部における履修方法および卒業要件単位数は次のとおりとする。

#### 文学部

科目区分 \ 学 科	国語国文学科	フランス語フランス文学科	英語英文学科
宗教学科目	8		
共通科目	20		
外国語科目	8		
学科専門科目	82		
科目区分を特定しない自由選択単位	6		
卒業要件単位	124		

#### 人間総合学部

科目区分 \ 学 科	児童文化学科	発達心理学科	初等教育学科
宗教学科目	8	8	8
共通科目	12	12	12
外国語科目	8	8	8
学部共通科目	8	8	8
学科専門科目	80	78	88
科目区分を特定しない自由選択単位	8	10	—
卒業要件単位	124		

科目区分を特定しない自由選択単位については、別表1に掲げる科目のうち、履修可能な科目から選択し、履修するものとする。

第27条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- 1 講義および演習については、15 時間から 30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- 2 実験、実習および実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- 3 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前 2 号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- 4 卒業論文等については、学修の成果を評価するものとし、4 単位から 8 単位の範囲で所定の単位を与える。

第 27 条の 2 本学が教育上有益と認めるときは、文部科学大臣が別に定めるところによって、前条に規定する授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

第 28 条 学生は、その学年に履修しようとする科目を所定の期日までに届け出なければならない。届け出をしない科目は履修することができない。

第 29 条 科目を履修し、試験（論文を含む。）に合格した者に対して、所定の単位を与える。ただし、演習・実験・実習および実技は、平素の成績によって認定することができる。

第 29 条の 2 本学が教育上有益と認めるときは、本学と協定のあるまたは認定する他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、30 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、第 25 条の規定により学生が外国の大学に留学する場合に準用する。この場合において、前項中「30 単位」とあるのは「38 単位」に読み替えるものとする。

3 前項に定める単位認定に関する事項は、別に定める。

第 29 条の 3 本学が教育上有益と認めるときは、短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、30 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項に定める単位認定に関する事項は、別に定める。

第 29 条の 4 本学が教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学が教育研究上有益と認めるときは、学生が入学する前に行った前条に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前 2 項により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、30 単位を超えないものとする。

第 29 条の 5 前 3 条により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 29 条の 6 第 27 条の 2 に規定する授業の方法により修得することができる単位数は 60 単位を超えないものとする。

第 30 条 定期の試験はそれぞれの学期末に行う。なお、事情により追試験を行うことができる。

2 定期試験の結果、不合格となった科目については、卒業年次に限り、再試験に関する規程に定めるところにより再試験を行うことができる。

第 31 条 各科目につき出席すべき時間数の 3 分の 1 以上を欠席した者は、その科目の学年末試験を受けることができない。また、その科目修了の認定を受けることもできない。

第 32 条 削除

第 33 条 試験の成績は、S・A・B・C・F の 5 段階とし、F は不合格となる。

## 第4章 教職課程、司書・司書教諭課程、保育士養成課程、日本語教育副専攻

第34条 教育職員の免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法に定める科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

2 本学の各学科において取得できる教育職員免許状の種類および免許教科は、次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類および免許教科
文学部	国語国文学科	中学校教諭 一種免許状 国語
		高等学校教諭 一種免許状 国語
	フランス語フランス文学科	中学校教諭 一種免許状 外国語（フランス語）
		高等学校教諭 一種免許状 外国語（フランス語）
	英語英文学科	中学校教諭 一種免許状 外国語（英語）
		高等学校教諭 一種免許状 外国語（英語）
人間総合学部	初等教育学科	幼稚園教諭 一種免許状 小学校教諭 一種免許状

第34条の2 司書・司書教諭となる資格を取得しようとする者は、図書館法および学校図書館法に定める科目をそれぞれ履修し、その単位を修得しなければならない。

第34条の3 保育士となる資格を取得しようとする者は、児童福祉法施行令および児童福祉法施行規則に定める科目をそれぞれ履修し、その単位を修得しなければならない。なお、詳細は指定保育士養成施設である人間総合学部初等教育学科において別に定める。

第34条の4 日本語教育副専攻修了認定書を受けようとする者は、副専攻の修了に必要な科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

## 第5章 賞 罰

第35条 次の各号の一つに該当する者に対し、学長はこれを賞することがある。

- 1 成績の優秀な者。
- 2 学生自治の向上に尽力した者。
- 3 学生の範となる行為をした者。

第36条 学業成績が優秀かつ品行方正な者で、経済的に学業の継続が困難となった者に対し、学長はこれを奨学生とし、奨学金を給与または貸与することがある。奨学金規程は別に定める。

第37条 本学学生にして本学の教育の方針にそむき、学生の本分を怠り、または成業の見込のない者に対し、学長は退学、停学または訓告の懲戒を加える。ただし、退学は、次の各号の一つに該当する者に対して行う。

- 1 性行不良で改善の見込がないと認められる者。
- 2 学業劣等で成業の見込がないと認められる者。
- 3 正当な理由がなくて出席常でない者。
- 4 学校の秩序を乱しその他学生としての本分に反した者。

## 第6章 卒業および学士の学位

第38条 第4条に規定する年限以上在学し、各学科の定める授業科目および単位数を修得した者に学位記を授与する。

第38条の2 卒業の時期は、学年末とする。ただし、前学期の終了日までに前条に規定する要件を満たした場合は、これを前学期終了時とすることができる。

第 39 条 本学において授与される学士の学位は次のとおりとする。

文学部	国語国文学科	学士（文学）
	フランス語フランス文学科	学士（文学）
	英語英文学科	学士（文学）
人間総合学部	児童文化学科	学士（児童文化学）
	発達心理学科	学士（心理学）
	初等教育学科	学士（教育学）

## 第 7 章 科目等履修生

第 40 条 本学の授業科目の履修を希望する者があるときは、科目等履修生として履修を許可することがある。

- 2 科目等履修生は検定料および受講料を期日までに納めなければならない。
- 3 科目等履修生の規程については別に定める。

## 第 8 章 学納金

第 41 条 本学の学納金は、別表 2 のとおりとする。

第 42 条 やむを得ない事情があると認められた場合は、学納金の全部またはその一部を免除することがある。

第 43 条 学納金に関する必要な事項は、別に定める。

第 44 条 削除

## 第 9 章 附属施設

第 45 条 本学に白百合女子大学図書館を置く。

- 2 図書館の規程は別に定める。

第 46 条 本学に次の研究施設を置く。

- 1 白百合女子大学発達臨床センター
  - 2 白百合女子大学児童文化研究センター
  - 3 白百合女子大学言語・文学研究センター
  - 4 白百合女子大学キリスト教文化研究所
  - 5 白百合女子大学生涯発達研究教育センター
- 2 研究施設の規程は別に定める。

## 第 10 章 教育・研究支援センター

第 47 条 本学学生のため、ウェルネスセンターを置く。

- 2 ウェルネスセンターに関する事項は、別に定める。

第 48 条 本学の教育・研究の成果を地域、社会に還元し、本学の教育的活動の社会的展開を図るため、社会連携センターを置く。

- 2 社会連携センターに関する事項は別に定める。

付則 本学則は、昭和 40 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 42 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 43 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 47 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 51 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 54 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 55 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 56 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 57 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 58 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 60 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 2 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 4 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 5 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 6 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 7 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 8 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 9 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 10 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、1999 年（平成 11 年）4 月 1 日より施行する。

本学則は、2000 年（平成 12 年）4 月 1 日より施行する。

※ただし、第 25 条（2007 年 4 月 1 日からは第 26 条）の改正については、2000 年度入学者より適用する。

本学則は、2001 年（平成 13 年）4 月 1 日より施行する。

本学則は、2004 年（平成 16 年）4 月 1 日より施行する。

※ただし、第 5 条の改正については、2004 年度入学者より適用する。

本学則は、2005 年（平成 17 年）4 月 1 日より施行する。

本学則は、2007 年（平成 19 年）4 月 1 日より施行する。

本学則は、2008 年（平成 20 年）4 月 1 日より施行する。

本学則は、2008 年（平成 20 年）6 月 1 日より施行する。

本学則は、2009 年（平成 21 年）1 月 1 日より施行する。

本学則は、2011 年（平成 23 年）4 月 1 日より施行する。

本学則は、2012 年（平成 24 年）4 月 1 日より施行する。ただし、改正後の第 26 条の規定は、2012 年度入学者から適用するものとし、2011 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

本学則は、2013 年（平成 25 年）4 月 1 日より施行する。ただし、改正後の第 26 条の 2 別表については、2013 年度入学者から適用する。

本学則は、2014 年（平成 26 年）4 月 1 日より施行する。ただし、改正後の第 26 条、第 26 条の 2 別表、第 29 条、第 29 条の 2、第 29 条の 3、第 29 条の 4 および第 29 条の 5 の規定は、2014 年度入学者から適用する。

本学則は、2015 年（平成 27 年）4 月 1 日より施行する。ただし、改正後の第 33 条の規定および第 26 条の 2 別表については、2015 年度入学者から適用する。

本学則は、2016 年（平成 28 年）4 月 1 日より施行する。ただし、改正後の第 3 条、第 3 条の 3、第 6 条、第 26 条、第 26 条の 2、第 26 条の 2 別表 1、第 26 条の 3、第 34 条、第 39 条および第 41 条別表 2 の規定は、2016 年度入学者から適用する。文学部児童文化学科は、改正後の第 3 条の規定に関わらず、当該学科に在籍する者が在籍しなくなるまでの間存続するものとする。

本学則は、2017 年（平成 29 年）4 月 1 日より施行する。ただし、改正後の第 26 条の 2 別表 1 の規定は、2017 年度入学者から適用する。



本学則は、2018年（平成30年）4月1日より施行する。ただし、改正後の第26条の2別表1のフランス語フランス文学科専門科目および児童文化学科専門科目については、2018年度入学者から適用する。

本学則は、2019年（平成31年）4月1日より施行する。

本学則は、2019年（令和元年）7月1日より施行する。

本学則は、2019年（令和元年）10月1日より施行する。

本学則は、2020年（令和2年）4月1日より施行する。

第 26 条の 2 別表 1

宗教学科目

必選区分	科目名	単位数
必修	キリスト教学ⅠA	1
	キリスト教学ⅠB	1
	キリスト教学ⅡA	1
	キリスト教学ⅡB	1
選択必修	宗教学ⅠA	1
	宗教学ⅠB	1
	宗教学ⅠC	1
	宗教学ⅠD	1
	宗教学ⅠE	1
	宗教学ⅠF	1
	宗教学ⅠG	1
	宗教学ⅠH	1
	宗教学ⅠI	1
	宗教学ⅠJ	1
	宗教学ⅠK	1
	宗教学ⅠL	1
	宗教学ⅠM	1
	宗教学ⅠN	1
	宗教学ⅠO	1
	宗教学ⅠP	1
	宗教学ⅠQ	1
	宗教学ⅠR	1
	宗教学ⅠS	1
	宗教学ⅠT	1
	宗教学ⅠU	1
	宗教学ⅠV	1
	宗教学ⅠW	1
	宗教学ⅠX	1
	宗教学ⅠY	1
	宗教学ⅠZ	1
	宗教学ⅡA	1
	宗教学ⅡB	1
宗教学ⅡC	1	
宗教学ⅡD	1	
宗教学ⅡE	1	
宗教学ⅡF	1	
宗教学ⅡG	1	
宗教学ⅡH	1	
宗教学ⅡI	1	
宗教学ⅡJ	1	
宗教学ⅡK	1	
宗教学ⅡL	1	

宗教学 II M	1
宗教学 II N	1
宗教学 II O	1
宗教学 II P	1
宗教学 II Q	1
宗教学 II R	1
宗教学 II S	1
宗教学 II T	1
宗教学 II U	1
宗教学 II V	1
宗教学 II W	1
宗教学 II X	1
宗教学 II Y	1
宗教学 II Z	1
宗教学 III A	1
宗教学 III B	1
宗教学 III C	1
宗教学 III D	1
宗教学 III E	1
宗教学 III F	1
宗教学 III G	1
宗教学 III H	1
宗教学 III I	1
宗教学 III J	1
宗教学 III K	1
宗教学 III L	1
宗教学 III M	1
宗教学 III N	1
宗教学 III O	1
宗教学 III P	1
宗教学 III Q	1
宗教学 III R	1
宗教学 III S	1
宗教学 III T	1
宗教学 III U	1
宗教学 III V	1
宗教学 III W	1
宗教学 III X	1
宗教学 III Y	1
宗教学 III Z	1
宗教学 IV A	1
宗教学 IV B	1
宗教学 IV C	1
宗教学 IV D	1
宗教学 IV E	1
宗教学 IV F	1

宗教学Ⅳ G	1
宗教学Ⅳ H	1
宗教学Ⅳ I	1
宗教学Ⅳ J	1
宗教学Ⅳ K	1
宗教学Ⅳ L	1
宗教学Ⅳ M	1
宗教学Ⅳ N	1
宗教学Ⅳ O	1
宗教学Ⅳ P	1
宗教学Ⅳ Q	1
宗教学Ⅳ R	1
宗教学Ⅳ S	1
宗教学Ⅳ T	1
宗教学Ⅳ U	1
宗教学Ⅳ V	1
宗教学Ⅳ W	1
宗教学Ⅳ X	1
宗教学Ⅳ Y	1
宗教学Ⅳ Z	1

共通科目

必選区分	科目名	単位数
必修	パブリックリテラシー	2
	情報リテラシー	2
選択必修	文化と人間	4
	哲学Ⅰ	2
	哲学Ⅱ	2
	現代思想Ⅰ	2
	現代思想Ⅱ	2
	世界の中の日本思想	4
	社会と倫理Ⅰ	2
	社会と倫理Ⅱ	2
	美学	4
	美術史Ⅰ	2
	美術史Ⅱ	2
	神話の世界A	2
	神話の世界B	2
	文化人類学Ⅰ	2
	文化人類学Ⅱ	2
	コンピュータ文学研究A	4
	コンピュータ文学研究B	4
	日本中世文化史	4
	日本近代文化史	4
	西洋史Ⅰ	2
西洋史Ⅱ	2	

日本史概説 I	2
日本史概説 II	2
歴史からみた現代	2
豊かさの中の経済	2
暮らしと現代経済	2
政治学 A	2
政治学 B	2
憲法	2
法とは何か	2
家族社会学	2
ワークライフ論	2
女性と文学	2
女性と人権	2
社会学入門	4
犯罪学概論	2
男女共同参画と政策	4
子どもの権利と国際社会	4
女性と法	2
子どもと法	2
ボランティア・キャリア体験 I	2
ボランティア・キャリア体験 II	2
ボランティア・キャリア体験 III	2
ボランティア・キャリア体験 IV	2
海外ボランティア実践演習 A	2
海外ボランティア実践演習 B	2
国際協力論 A	2
国際協力論 B	2
社会活動におけるマネジメント A	2
社会活動におけるマネジメント B	2
地域連携演習 A	4
地域連携演習 B	4
地域連携演習 C	2
社会福祉と私たち	2
児童と家庭の福祉	2
食と環境	2
環境学のフロンティア	2
観光文化論	2
住居と人間	4
現代心理学概論	4
はじめての心理学	4
環境心理学	4
コミュニティの心理学	4
ビジネス・コンピュータスキル	2
メディア・デザインスキル	1
情報活用演習 A	1
情報活用演習 B	1

アトリエ・リス・フラン・ワークショップ°	4
スポーツ・健康科学A	2
スポーツ・健康科学B	2
スポーツ・健康科学C	2
身体運動の科学	3
ジェンダー基礎論	2
サウンドスケイプ演習	4
歴史の中の音楽	2
数と形の世界A	2
数と形の世界B	2
数と形の世界C	2
数と形の世界D	2
自然科学の世界A	2
自然科学の世界B	2
自然といのち	4
生活の中にみる科学と技術Ⅰ	2
生活の中にみる科学と技術Ⅱ	2
地球と宇宙を知るための科学Ⅰ	2
地球と宇宙を知るための科学Ⅱ	2
教養としての日本語	2
クリティカル・ライティング入門	2
クリティカル・リーディング入門	2
美しい日本語を話す（基礎）	2
美しい日本語を話す（実践）	2
プレゼンテーション入門	2
メディアスキル・フィールド°ワークショップ°	4
コンピュータ・リテラシー基礎	1

外国語科目

科目名	単位数
総合英語Ⅰ	1
総合英語Ⅱ	1
総合英語Ⅲ	1
総合英語Ⅳ	1
英語コミュニケーションⅠ	1
英語コミュニケーションⅡ	1
英語コミュニケーションⅢ	1
英語コミュニケーションⅣ	1
英講読文法A	2
英講読文法B	2
上級総合英語Ⅰ	1
上級総合英語Ⅱ	1
上級英語コミュニケーションⅠ	1
上級英語コミュニケーションⅡ	1
English for JFL TeachersⅠ	2

English for JFL Teachers II	2
フランス語 I (文法・講読)	2
フランス語 I (会話)	2
フランス語 II (文法・講読)	2
フランス語 II (会話)	2
フランス語入門	2
初級フランス語	2
中級フランス語	2
ドイツ語 I A	2
ドイツ語 I B	2
ドイツ語 II A	2
ドイツ語 II B	2
中国語 I A	2
中国語 I B	2
中国語 II A	2
中国語 II B	2
中国語 (初級)	4
中国語 (中級) A	2
中国語 (中級) B	2
韓国語 (初級)	4
韓国語 (中級) A	2
韓国語 (中級) B	2
韓国の言語と文化	2

国語国文学科専門科目

必選区分	科目名	単位数
必修	基礎演習 (古典) I	1
	基礎演習 (古典) II	1
	基礎演習 (近代) I	1
	基礎演習 (近代) II	1
	基礎演習 (変体仮名)	1
	基礎演習 (漢文) A	1
	基礎演習 (漢文) B	1
	基礎講読 A	2
	基礎講読 B	2
	基礎講読 C	2
	基礎講読 D	2
	国語学概論	4
	総合研究 I	1
	総合研究 II	1
	テーマ別研究 I	2
	テーマ別研究 II	2
	テーマ別研究 III	2
	テーマ別研究 IV	2
	キャリア研究	2

	卒業論文	4
選択必修 I	文学史（上代・中古）	4
	文学史（中世・近世）	4
	文学史（近代）	4
選択必修 II	上代文学演習 A	4
	上代文学演習 B	4
	中古文学演習 A	4
	中古文学演習 B	4
	中古文学演習 C	4
	中世文学演習 A	4
	中世文学演習 B	4
	中世文学演習 C	4
	近世文学演習 A	4
	近世文学演習 B	4
	近世文学演習 C	4
	近代文学演習 A	4
	近代文学演習 B	4
	近代文学演習 C	4
	近代文学演習 D	4
	近代文学演習 E	4
	近代文学演習 F	4
	近代文学演習 G	4
	国語学演習（古典語）	4
	国語学演習（近代語）	4
	漢文学演習	4
選択必修 III	上代文学講義 A	4
	上代文学講義 B	4
	中古文学講義 A	4
	中古文学講義 B	4
	中古文学講義 C	4
	中古文学講義 D	4
	中世文学講義 A	4
	中世文学講義 B	4
	中世文学講義 C	4
	近世文学講義 A	4
	近世文学講義 B	4
	近代文学講義 A	4
	近代文学講義 B	4
	近代文学講義 C	4
	近代文学講義 D	4
	近代文学講義 E	4
	国語学講義（古典語）	4
	国語学講義（近代語）	4
	国語学講義（言語と社会） I	2



	国語学講義（言語と社会）Ⅱ	2
	漢文学講義	4
	中国文学講義	4
選択	国語国文学特講（表現学）	4
	国語国文学特講（民俗学）	4
	国語国文学特講（演劇）	4
	書道Ⅰ	2
	書道Ⅱ	2
	日本中世史	4
	日本近代史	4
	国語学特講（言語学概論）	4
	言語学各論（言語地理学）	2
	言語学各論（地域言語文化論）	2
	言語学各論（接触場面研究）	2
	国語学特講（現代語文法）	4
	対照言語学	2
	第二言語習得	2
	日本語教育教授法	4
	日本語教育研究	2
	日本語教育実習	1
	国語科教育法ⅠA	2
	国語科教育法ⅠB	2
	国語科教育法特講A	2
	国語科教育法特講B	2
	総合日本語ⅠA	2
	総合日本語ⅠB	2
	総合日本語ⅡA	2
	総合日本語ⅡB	2
	異文化とコミュニケーション	2
	日本語史Ⅰ	2
	日本語史Ⅱ	2

フランス語フランス文学科専門科目

必選区分	科目名	単位数
必修	フランス語総合ⅠA	4
	フランス語総合ⅠA（既習）	4
	フランス語総合ⅠB	4
	フランス語総合ⅠB（既習）	4
	フランス語総合ⅠC	4
	フランス語総合ⅠC（既習）	4
	フランス語総合ⅡA	4
	フランス語総合ⅡA（既習）	4
	フランス語総合ⅡB	4
	フランス語総合ⅡB（既習）	4
	フランス語コミュニケーションⅠA	2
	フランス語コミュニケーションⅠA（既習）	2

	フランス語コミュニケーション I B	2
	フランス語コミュニケーション I B (既習)	2
	フランス語コミュニケーション II A	2
	フランス語コミュニケーション II A (既習)	2
	フランス語コミュニケーション II B	2
	フランス語コミュニケーション II B (既習)	2
	フランス語発展総合 I A	2
	フランス語発展総合 I B	2
	フランス語発展総合 II A	2
	フランス語発展総合 II B	2
	フランス語発展読解 I	2
	フランス語発展読解 II	2
	フランス語圏文化概論	4
	フランス文学概論	2
	専門ゼミ準備研究	2
	キャリア研究	2
	専門ゼミ	4
選択必修 I	フランス語上級演習 I A	2
	フランス語上級演習 I B	2
	フランス語上級演習 II A	2
	フランス語上級演習 II B	2
	フランス文学歴史演習 I A	2
	フランス文学歴史演習 I B	2
	フランス文学歴史演習 I C	2
	フランス文学歴史演習 II A	2
	フランス文学歴史演習 II B	2
	フランス社会文化演習 I A	2
	フランス社会文化演習 I B	2
	フランス社会文化演習 I C	2
	フランス社会文化演習 II A	2
	フランス社会文化演習 II B	2
	フランス芸術文化演習 I A	2
	フランス芸術文化演習 I B	2
	フランス芸術文化演習 I C	2
	フランス芸術文化演習 II A	2
	フランス芸術文化演習 II B	2
	フランス生活文化演習 I A	2
	フランス生活文化演習 I B	2
	フランス生活文化演習 I C	2
	フランス生活文化演習 II A	2
	フランス生活文化演習 II B	2
選択必修 II	2年次アトリエ I A	2
	2年次アトリエ I B	2
	2年次アトリエ I C	2
	2年次アトリエ I D	2
	2年次アトリエ II A	2

	2年次アトリエⅡB	2
	2年次アトリエⅡC	2
	2年次アトリエⅡD	2
	フランス語実践研究A	2
	フランス語実践研究B	2
	フランス語実践研究C	2
	フランス語実践研究D	2
	フランス語実践研究E	2
	フランス語実践研究F	2
	フランス語実践研究G	2
	フランス語実践研究H	2
	フランス文学歴史研究A	2
	フランス文学歴史研究B	2
	フランス文学歴史研究C	2
	フランス文学歴史研究D	2
	フランス文学歴史研究E	2
	フランス文学歴史研究F	2
	フランス文学歴史研究G	2
	フランス社会文化研究A	2
	フランス社会文化研究B	2
	フランス社会文化研究C	2
	フランス社会文化研究D	2
	フランス社会文化研究E	2
	フランス社会文化研究F	2
	フランス社会文化研究G	2
	フランス芸術文化研究A	2
	フランス芸術文化研究B	2
	フランス芸術文化研究C	2
	フランス芸術文化研究D	2
	フランス芸術文化研究E	2
	フランス芸術文化研究F	2
	フランス芸術文化研究G	2
	フランス生活文化研究A	2
	フランス生活文化研究B	2
	フランス生活文化研究C	2
	フランス生活文化研究D	2
	フランス生活文化研究E	2
	フランス生活文化研究F	2
	フランス生活文化研究G	2
	仏語科教育法ⅠA	2
	仏語科教育法ⅠB	2
	仏語科教育法特講A	2
	仏語科教育法特講B	2
選択	卒業論文	4
	フランス語・文化入門演習	1

備考 「専門ゼミ」は3年次、4年次にわたり履修しなければならない。

英語英文学科専門科目

必選区分	科目名	単位数
必修	インテンシヴ・リーディングⅠ	1
	インテンシヴ・リーディングⅡ	1
	エクステンシヴ・リーディングⅠ	1
	エクステンシヴ・リーディングⅡ	1
	ライティングⅠ	1
	ライティングⅡ	1
	オーラル・コミュニケーションⅠ	1
	オーラル・コミュニケーションⅡ	1
	プレゼンテーションⅠ	1
	プレゼンテーションⅡ	1
	Grammar & Listening Ⅰ	1
	Grammar & Listening Ⅱ	1
	リーディングA	1
	リーディングB	1
	ライティングⅢ	1
	ライティングⅣ	1
	オーラル・コミュニケーションⅢ	1
	オーラル・コミュニケーションⅣ	1
	Digital Presentation A	1
	Digital Presentation B	1
	キャリア研究	2
	Advanced English AⅠ	1
	Advanced English AⅡ	1
	Advanced English BⅠ	1
	Advanced English BⅡ	1
	3年セミナーⅠ	1
	3年セミナーⅡ	1
	特別演習Ⅰ	1
	特別演習Ⅱ	1
	入門セミナー・イギリス	1
	入門セミナー・アメリカ	1
	入門セミナー・ことば	1
入門セミナー・比較	1	
選択必修Ⅰ	卒業論文	8
	卒業レポート	2
選択必修Ⅱ	イギリス史Ⅰ	2
	イギリス史Ⅱ	2
	イギリス文学史A	2
	イギリス文学史B	2
	イギリス文化史Ⅰ	2
	イギリス文化史Ⅱ	2

異文化理解	2
イギリス文学鑑賞A	2
イギリス文学鑑賞B	2
イギリス文学講義A	2
イギリス文学講義B	2
イギリス文学研究A	2
イギリス文学研究B	2
イギリス文化講義	2
イギリス文化研究	2
イギリス演劇講義	2
British Literature	2
British Cultures I	2
British Cultures II	2
Irish Culture A	2
Irish Culture B	2
Australian Studies A	2
Australian Studies B	2
Postcolonial Literature A	2
アメリカ史	2
アメリカ文学史 I	2
アメリカ文学史 II	2
アメリカ文化概論 I	2
アメリカ文化概論 II	2
英語圏文学	2
アメリカ小説鑑賞A	2
アメリカ小説鑑賞B	2
アメリカ文学講義A	2
アメリカ文学講義B	2
アメリカ文学講義C	2
アメリカ文学講義D	2
アメリカ文学研究A	2
アメリカ文学研究B	2
アメリカ文化講義	2
アメリカ文化研究	2
アメリカ文化の中のキリスト教	2
文学批評講義	2
American Literature	2
American Drama	2
American Culture	2
American Society	2
Postcolonial Literature B	2
英語史 I	2
英語史 II	2
英語学概論 I	2

	英語学概論Ⅱ	2
	児童英語入門	2
	子どもに教えるための英語Ⅰ	2
	英語音声学Ⅰ	2
	英語音声学Ⅱ	2
	言語習得論Ⅰ	2
	言語習得論Ⅱ	2
	英語の言語変化	2
	社会言語学	2
	コミュニケーション概論Ⅰ	2
	コミュニケーション概論Ⅱ	2
	異文化コミュニケーションⅠ	2
	異文化コミュニケーションⅡ	2
	World Englishes	2
	Journalism EnglishⅠ	2
	Journalism EnglishⅡ	2
	英語教育の理論と実践Ⅰ	2
	英語教育の理論と実践Ⅱ	2
	国際関係論	2
	国際交流論	2
	Japanese Studies	2
	Japanese Society	2
	Japanese History	2
	Japanese Literature A	2
	Japanese Literature B	2
	Japanese Culture A	2
	Japanese Culture B	2
	Japanese Pop Culture A	2
	Japanese Pop Culture B	2
	Japanese Films A	2
	Japanese Films B	2
	East Asian Studies A	2
	East Asian Studies B	2
	東アジア映画研究	2
	Introduction to Global History	2
	J-E TranslationⅠ	2
	J-E TranslationⅡ	2
	J-E TranslationⅢ	2
	J-E TranslationⅣ	2
	J-E Translation Workshop	2
選択必修 Ⅲ	TOEIC 入門	2
	TOEIC 初級	2
	TOEIC 中級A	2
	TOEIC 中級B	2

	TOEIC 上級A	2
	TOEIC 上級B	2
	TOEIC S & W	2
	アメリカ留学試験準備	2
	アメリカ留学試験対策	2
	グローバル文化研究A	2
	グローバル文化研究B	2
	グローバル文化研究C	2
	グローバル文化研究D	2
	グローバル文化研究E	2
	グローバル文化研究F	2
	グローバル文化研究G	2
	グローバル文化研究H	2
	グローバル文化研究I	2
	グローバル文化研究J	2
	グローバル文化研究K	2
	ビジネスコミュニケーション I	2
	ビジネスコミュニケーション II	2
	ホスピタリティの英語初級 I	2
	ホスピタリティの英語初級 II	2
	English Through Drama I	2
	English Through Drama II	2
	英日翻訳演習 I	2
	英日翻訳演習 II	2
	通訳基礎	2
	通訳実践	2
	Academic Writing	2
	Advanced Presentation	2
	Advanced Oral Communication A I	2
	Advanced Oral Communication A II	2
	Advanced Oral Communication B I	2
	Advanced Oral Communication B II	2
	日英翻訳 I	2
	日英翻訳 II	2
	通訳演習上級A	2
	通訳演習上級B	2
	ホスピタリティの英語中級 I	2
	ホスピタリティの英語中級 II	2
選択	実用英語文法 I	2
	実用英語文法 II	2
	英語圏の言語と文化	4
	英語教師のための英文法 I	2
	英語教師のための英文法 II	2
	ホスピタリティマネジメント概論	2

		ホスピタリティマネジメント特講A	2
		ホスピタリティマネジメント特講B	2
		海外異文化体験研修	4
		英語科教育法 I A	2
		英語科教育法 I B	2
		英語科教育法特講A	2
		英語科教育法特講B	2
		実践キャリア研究	2
		海外ホスピタリティ研修A	2
		海外ホスピタリティ研修B	2
		ホスピタリティマネジメント演習A	2
		ホスピタリティマネジメント演習B	2
児童 英語 指導 者養 成プ ログ ラム ※	児童英語教材研究	2	
	児童英語観察実習	1	
	児童英語海外実習	4	
	児童英語アシスタント実習 I	4	
	児童英語アシスタント実習 II	4	
	児童英語指導法ワークショップ I	4	
	児童英語指導法ワークショップ II	4	
	児童英語教育法	2	
	子どもに教えるための英語 II	2	
グロ ーバ ルビ ジネ スプ ログ ラム	EBC I	2	
	EBC II	2	
	EBC III	2	
	EBC IV	2	
	グローバルビジネス I	2	
	グローバルビジネス II	2	
	グローバルビジネス III	2	
	ビジネススキル	2	
	海外企業実地研修	2	
	国内企業実地研修	2	
	物語力ワークショップ	2	
	ビジネスの基礎知識	2	
	ビジネスナーとホスピタリティ演習	2	
	メディアで学ぶビジネス英語A	2	
	メディアで学ぶビジネス英語B	2	
	ビジネス・マーケティングA	2	
	ビジネス・マーケティングB	2	
	海外企業実地研修準備講座	2	
	国内企業実地研修準備講座	2	
	ホスピタリティの中国語 I	2	

※ 選択必修Ⅱにも科目あり



区分	科目名	単位数
選択必修	子どものイメージ	2
	子どもとファンタジー	2
	子どもと社会	2
	学校と発達	2
	家庭の教育・地域の教育	2
	子どもと福祉	2
	子育て支援論	2
	現代社会と生涯発達	2
	ジェンダーと社会	2

児童文化学科専門科目

区分	科目名	単位数	
必修	児童文学入門 A	2	
	児童文学入門 B	2	
	児童文学史・日本 I	2	
	児童文学史・日本 II	2	
	児童文化入門 A	2	
	児童文化入門 B	2	
	児童文学史・英語圏 I	2	
	児童文学史・英語圏 II	2	
	基礎演習 A	2	
	基礎演習 B	2	
	演習	4	
	卒業論文	8	
	キャリア研究	2	
	選択	選択 A	日本児童文学研究 A
日本児童文学研究 B			2
英米児童文学研究 A			2
英米児童文学研究 B			2
伝承文学研究			2
創作文化研究 I			2
創作文化研究 II			2
キャラクター文化研究			2
ストーリーテリング研究 I			2
ストーリーテリング研究 II			2
ストーリーテリング研究 III			2
わらべうた研究			2
マザーグース研究			2
絵本制作研究 I			2
絵本制作研究 II			2
編集研究			2
出版演習 I			2
出版演習 II			2
アニメーション制作 A			2
アニメーション制作 B			2

選 択 B	児童文学・日本 A	2
	児童文学・日本 B	2
	児童文学・日本 C	2
	児童文学・日本 D	2
	児童文学・ドイツ A	2
	児童文学・ドイツ B	2
	児童文学・イギリス A	2
	児童文学・イギリス B	2
	児童文学・フランス A	2
	児童文学・フランス B	2
	児童文学・アメリカ A	2
	児童文学・アメリカ B	2
	児童文学・カナダ	2
	児童文学・北欧	2
	児童文学・韓国	2
	児童文学・YA文学	2
	おもちゃ論 A	2
	おもちゃ論 B	2
	キャラクター論	2
	マンガ論	2
	アニメ論	2
	絵本論	2
	サブカルチャー論	2
	創作演習 A I	2
	創作演習 A II	2
	創作演習 B I	2
	創作演習 B II	2
	翻訳演習 I	2
	翻訳演習 II	2
	伝承文学	2
	S Fファンタジー I	2
	S Fファンタジー II	2
	ネオ・ファンタジー I	2
	ネオ・ファンタジー II	2
	児童文化・紙芝居	2
	児童文化・民俗と子ども	2
	児童文化・子ども論	2
	絵本演習 I	2
	絵本演習 II	2
	絵本制作 I	2
絵本制作 II	2	

発達心理学科専門科目

区分	科目名	単位数
必修	心理学概論 A	2
	心理学概論 B	2

		発達心理学基礎演習 A	2
		発達心理学基礎演習 B	2
		心理学統計法 I A	2
		臨床心理学概論	2
		発達心理学概論 A	2
		発達心理学概論 B	2
		発達臨床心理学概論	2
		心理学実験 I	4
		心理学実験 II	4
		心理学統計法 I B	2
		心理学統計法 II	2
		論文講読基礎演習	2
		英語論文講読演習	2
		キャリア研究	2
		心理学研究法 I	2
		心理学研究法 II	2
		卒業論文	8
選択 必修 科目	特 講 科 目	知覚・認知心理学	2
		感情・人格心理学	2
		社会・集団・家族心理学	2
		教育・学校心理学	2
		発達心理学特講 A	2
		発達心理学特講 B	2
		発達心理学特講 C	2
		発達心理学特講 D	2
		精神疾患とその治療	2
		障害者・障害児心理学	2
		臨床心理学特講 A	2
		臨床心理学特講 B	2
	演 習 科 目	発達心理学演習 A	2
		発達心理学演習 B	2
		発達心理学演習 C	2
		発達心理学演習 D	2
		発達心理学演習 E	2
		発達心理学演習 F	2
		発達心理学演習 G	2
		発達心理学演習 H	2
		発達心理学演習 I	2
		発達心理学演習 J	2
		発達心理学演習 K	2
		発達心理学演習 L	2
		心理的アセスメント A	2
		心理的アセスメント B	2
		臨床心理学演習 A	2
臨床心理学演習 B	2		
臨床心理学演習 C	2		

		臨床心理学演習D	2
選択科目		子ども観察	2
		児童文化・民俗と子ども	2
		児童文化・子ども論	2
		公認心理師の職責	2
		学習・言語心理学	2
		神経・生理心理学	2
		心理学的支援法	2
		健康・医療心理学	2
		福祉心理学	2
		司法・犯罪心理学	2
		産業・組織心理学	2
		人体の構造と機能及び疾病	2
		関係行政論	2
		心理実習	2
		心理演習	2

初等教育学科専門科目

区分	科目名	単位数		
		必修	選択 必修	選択
コース 共通 専門 科目	初等教育基礎演習A	2		
	初等教育基礎演習B	2		
	初等教育演習	4		
	キャリア研究	2		
	統計データの理解と活用			2
	学校臨床心理学			2
	学習指導法演習（国語）			2
初等 教職 科目 Ⅰ	国語		2	
	社会		2	
	算数		2	
	理科		2	
	生活		2	
	音楽		2	
	図画工作		2	
	家庭		2	
	体育		2	
	小学校外国語（英語）		2	
	音楽演習（器楽）		2	
	音楽演習（合唱）		2	
	図画工作演習（造形・描画）		2	
体育演習（体づくり・体操）		2		
コ 等 初	教育原理	2		

		教育心理学	2		
		教育の制度と経営（幼・小）	2		
		特別な支援を要する子どもの理解と支援	2		
		教育方法	2		
		教育相談（幼・小）	2		
		教育実習（幼・小） 事前事後指導			1
		教育実習（幼・小）			4
幼児教育 コース 科目	初等 教職 科目 目	保育内容総論	4		
		保育内容演習（健康）	2		
		保育内容演習（人間関係）	2		
		保育内容演習（環境）	2		
		保育内容演習（言葉）	2		
		保育内容演習（表現）	2		
		保育者論	2		
		保育カリキュラム論	2		
		幼児理解	2		
		保育・教職実践演習			2
	保育 に 関 す る 科 目	領域健康	1		
		領域人間関係	1		
		領域環境	1		
		領域言葉	2		
		領域表現	1		
		保育原理	2		
		子ども家庭福祉Ⅰ	2		
		社会福祉	2		
		社会的養護Ⅰ	2		
		子ども家庭福祉Ⅱ			2
		保育の心理学	2		
		子どもの保健	2		
		子どもの健康と安全	2		
		子どもの食と栄養	2		
		子ども家庭支援論	2		
		乳児保育Ⅰ	2		
		乳児保育Ⅱ	2		
		子ども家庭支援の心理学	2		
		子育て支援	2		
		社会的養護Ⅱ	2		
		保育体験Ⅰ			1
		保育体験ⅡA			1
		保育体験ⅡB			1
保育実習Ⅰ			4		
保育実習指導ⅠA			1		
保育実習指導ⅠB			1		
保育実習Ⅱ			2		

		保育実習指導Ⅱ			1		
		保育実習Ⅲ			2		
		保育実習指導Ⅲ			1		
児童教育 コース 科目	初等 教職 科目 Ⅲ	初等国語科指導法	2				
		初等社会科指導法	2				
		初等算数科指導法	2				
		初等理科指導法	2				
		初等生活科指導法	2				
		初等音楽科指導法	2				
		初等図画工作科指導法	2				
		初等家庭科指導法	2				
		初等体育科指導法	2				
		初等外国語（英語）指導法	2				
		教職論（小）	2				
		教育課程論（小）	2				
		道德教育（小）	2				
		総合的な学習の時間の指導法（小）	2				
		特別活動（小）	2				
		生徒指導・進路指導（小）	2				
		教職実践演習（小）			2		
			初等 教職 科目 Ⅳ	教育体験Ⅰ			1
				教育体験ⅡA	1		
		教育体験ⅡB		1			
		教育体験ⅢA				1	
		教育体験ⅢB				1	
		学級経営論				2	
		学校経営と学校図書館				2	
		学校図書館メディアの構成				2	
		学習指導と学校図書館				2	
		読書と豊かな人間性				2	
		情報メディアの活用				2	
		隣接 領域 科目		児童文化・子ども論			2
			児童文学・日本C			2	
			児童文学・日本D			2	
			おもちゃ論A			2	
	絵本論				2		
	心理学概論A				2		
	心理学概論B				2		
	発達心理学概論A				2		
	発達心理学概論B				2		
	発達臨床心理学概論				2		
	障害者・障害児心理学				2		
卒業研究		卒業研究	4				

教職に関する科目

科目名	単位数
国語科教育法Ⅱ	2
仏語科教育法Ⅱ	2
英語科教育法Ⅱ	2
教育原理（中・高）	2
教職論（中・高）	2
教育の制度と経営（中・高）	2
教育心理学（中・高）	2
特別支援教育概論（中・高）	2
教育課程論（中・高）	2
道徳教育（中）	2
総合的な学習・探究の時間の指導法（中・高）	2
特別活動（中・高）	2
教育方法（中・高）	2
生徒指導・進路指導（中・高）	2
教育相談（中・高）	2
教育実習A（中・高）	5
教育実習B（中・高）	3
教職実践演習（中・高）	2
教育体験Ⅰ（中・高）	2
教育体験Ⅱ（中・高）	2

司書に関する科目

科目名	単位数
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館制度・経営論	2
図書館情報技術論	2
図書館サービス概論	2
情報サービス論	2
児童サービス論	2
情報サービス演習Ⅰ	2
情報サービス演習Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
情報資源組織論	2
情報資源組織演習（目録）	2
情報資源組織演習（分類）	2
図書館基礎特論	2
図書館サービス特論（学校）	2
図書館情報資源特論	2
図書・図書館史	2
図書館施設論	2
図書館総合演習	2
図書館実習	3

司書教諭に関する科目

科目名	単位数
学校経営と学校図書館	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2

**第41条 別表2：学納金**

1. 本学の学納金は次のとおりである。

科目	金額	備考
入学検定料	35,000円	大学入試センター試験利用入試ならびに一般入学試験および大学入試センター試験利用入試の併願の場合は、別に定める。
入学金	350,000円	入学時のみ
授業料	700,000円	
施設設備費	300,000円	
維持費	100,000円	
心理学実験実習費	30,000円	人間総合学部発達心理学科のみ

2. シャルトル聖パウロ修道女会の会員（志願者を含む）に対して、学納金を免除することができる。
3. 同一法人による編入学生の入学金は、2分の1に減額する。
4. 再入学生の入学金は、2分の1に減額する。ただし、退学もしくは除籍後10年以上を経た者は対象外とする。